

# 国語 中学校 第2学年

出題の意図及び正答率(中2)

評価の観点等

- 1 聞く能力
- 2 書く能力
- 3 読む能力
- 4 言語についての知識・理解・技能

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点等				正答率	
	大問	小問	通番		1	2	3	4		
話すこと・聞くこと	一	一	1	どのようなことから話題を探してきたかを考えながら話の内容を聞くことができる。	○				91.5	
		二	2	文や表現の効果的な使い方に注意しながら聞くことができる。	○				79.9	
		三	3	話し合いが目的に沿って効果的に進むように、話の内容を聞き分けることができる。	○				91.3	
		四	4	事実と意見の関係を考えながら話の内容を聞くことができる。	○				95.3	
読むこと	二	一	5	話の展開を考えながら登場人物がおかれた状況を読むことができる。			○		63.5	
		二	6	話の展開を考えながら、登場人物の心情や行動を読むことができる。			○		92.8	
		三	7	場面の状況をとらえながら読むことができる。			○		87.6	
		四	8	表現の仕方や文章の特徴に注意しながら読むことができる。			○		64.6	
		五	9	比喩表現に着目し、文脈の中で意味を正確に理解することができる。			○		48.8	
		六	10	情景描写から登場人物の心情を読むことができる。			○		62.3	
		七	11	主題をとらえながら読むことができる。			○		95.8	
言語事項	三	1	12	小学校で学習した漢字と中学校2年生までに学習した漢字を、正しく読むことができる。				○	96.1	
		2	13					○	98.7	
		3	14					○	65.7	
		4	15					○	41.7	
		5	16					○	96.7	
	一	6	17	小学校で学習した漢字を正しく書くことができる。				○	65.3	
		7	18					○	62.8	
		8	19					○	53.1	
		9	20					○	65.6	
		10	21					○	84.8	
	三	1	22	文の意味をとらえて語句を正しく使うことができる。				○	48.9	
		2	23	慣用的な表現を正しく使うことができる。				○	74.8	
		二	3	24	ことわざを正しく使うことができる。				○	67.4
			4	25	同訓異字を正しく使うことができる。				○	75.7
	三	一	1	26	文の成分を理解することができる。				○	55.7
			2	27	基本的な故事成語を理解することができる。				○	61.2
三		3	28	敬語を正しく使うことができる。				○	95.4	
		4	29	古文の仮名遣いを理解することができる。				○	69.2	
書くこと	四	一	30	資料から分かることを、主述が整った文で書くことができる。		○			72.9	
		二	31	資料をもとに、自分のものの見方や考え方を深めながら書くことができる。		○			59.2	